

日本ゲノム微生物学会 2020年第1回評議員会 議事録

日 時： 2020年7月2日（木） 16：00～18：00

会 場： Zoomにて開催

出 席：

役員 仁木宏典、黒川顕、相馬亜希子、永田裕二、大西康夫、佐々木裕子、佐藤勉、
広瀬侑、池村淑道

会計監査 塩見大輔、田中寛

評議員 饗場浩文（議長）、丸山史人、吉田健一、高見英人、小椋義俊、森浩禎、
跡見晴幸、中村保一、渡辺智、得平茂樹、片山勉、有田正規、應蓓文

審議に先立ち、仁木会長より挨拶があり、評議員会の定足数を満たしていることを確認し、饗場議長の進行のもと審議が進められた。

第1号議案 2019年事業報告

仁木会長、黒川庶務幹事より、議案書に従って2019年の会員数、会費納入率および事業概要が報告され全会一致で承認された。また、各担当より以下の報告があった。

- ・ 2019年年会について
前年会長の加藤評議員が欠席のため、仁木会長、黒川庶務幹事から開催報告があった。
- ・ 若手の会の開催について
若手の会の世話人を務める広瀬評議員より2019年の若手の会の開催報告が行われた。
- ・ 東京大学微生物科学イノベーション連携研究機構が主催した「微生物ウィーク2019」において、極限環境微生物学会、酢酸菌研究会と共同企画した「ゲノムから見る好酸菌・耐性菌研究の展望」、日本細菌学会と共同企画した「ゲノム微生物学と細菌学の研究最前線」について報告が行われた。

第2号議案 2019年学会収支決算

相馬会計幹事より、2019年の収支決算について、資料1に基づいて報告が行われた。また、田中、塩見両会計監査より適切に執行されていることを確認したとの報告があり、2019年度収支決算案は全会一致で承認された。

第3号議案 2020年事業計画

仁木会長、黒川庶務幹事より、議案書に従って 2020 年の事業計画の概要が説明され、また各担当より以下の報告があった。

- ・ 若手の会の開催について
若手の会の世話人を務める広瀬評議員より 2020 年の若手の会の開催計画について、報告が行われた。
- ・ 評議員選挙の実施について
今年は評議員選挙の年にあたり、選挙が行われることが黒川庶務幹事より報告された。また、前回選挙で被選挙人名簿を 50 音順にしたところ、50 音で若い方が当選しやすいという傾向がみられたことから、単純な 50 音順ではないカテゴリーを設けたうえで、今回の評議員選挙を行うことが提案され、その方法については、執行部と選挙管理委員に一任することが確認された。
以上について慎重に審議を行い、全会一致で承認された。

第4号議案 2020 年学会予算案

相馬会計幹事より、2020 年の収支予算案について、資料 3 に基づいて説明が行われ、全会一致で承認された。

第5号議案 第 16 回年会（2022 年）について

仁木会長より、現会計監査の塩見大輔会員を年会長として立教大学で開催したいとの提案があり、全会一致で承認された。

第6号議案 奨励賞・若手賞の年齢制限の引き上げについて

仁木会長ならびに池村選考委員長より、資料 4 の奨励賞・若手賞の要綱変更案について、より多くの若手研究者の応募を促すために、年齢制限の上限を引き上げたい旨説明があった。

女性のライフイベントなどを考慮し、若手賞の年齢制限に「原則として」などの文言を加えることが提案され、全会一致で承認された。

報告事項

1. 第 13 回年会（2019 年・首都大学東京）収支報告

加藤前年会長が欠席のため、収支報告書が示され、事務局より収支決算について報告された。

2. 第 14 回年会（2020 年・ウイנקあいち）収支報告

饗場年会長より、新型コロナウイルスの蔓延により第 14 回年会を中止した経緯につ

いて以下の通り報告があった。

- ・ 学会は中止となったが、要旨集の発行をもって学会が成立したという扱いにしたため、参加費の返金は行わなかった。
- ・ ランチョンセミナー企業、展示企業に対しても展示の準備等にすでに費用を支出していたことから、企業について協力を依頼し、事前準備費用相当分をご負担いただくこととなった。また、事前準備費用相当分のみならず、全額ご負担いただいた企業もあった。
- ・ 広告企業については要旨集の発行をもって学会が成立したという初界にしたため、広告費用を全額頂戴した。
- ・ ご協力いただいた企業に対しては、次年度年会での優遇措置や、学会 HP に広告を掲載いただくなど、代替措置を講じることとなった。
- ・ ウィンクあいちについては 175 万円ほどの前金を支払っており、当初は一切の返金がないとの説明を受けていたが、新型コロナウイルスの特例として振込手数料を差し引いた全額を返金いただけることとなった。
- ・ 以上の経緯により、200 万円の黒字が生じた。

3. 第 15 回年会（2021 年・九州大学伊都キャンパス）準備報告

片山次期年会長より、第 15 回年会については以下の概要での開催を検討していると報告があったものの、新型コロナウイルスの状況によっては現地開催と WEB 開催のハイブリッド開催への移行を検討していることが報告された。

日時：2021 年 3 月 4～6 日

会場：九州大学 伊都キャンパス 椎木講堂

第 15 回年会をどのような形式で開催するかについては、片山年会長に一任することが確認された。

4. 会費未納会員への対応

未納会員について、資料 7 を基に事務局から報告が行われた。長期未納による開会処分候補の会員については、再度本人に督促を行うよう、事務局に指示があった。また、評議員も長期滞納者について心当たりがあれば、事務局に連絡をしていただくよう仁木会長から依頼があった。

5. その他

前回選挙より評議員選挙に WEB 投票が導入されたが、HP に掲載されているそれに係る細則・選挙要綱などが古いままになっていると、黒川庶務幹事より指摘され、事務

局に修正するよう指示があった。

また、評議員選挙においてはシステムの関係上、50音順で若井候補が当選しやすい傾向にあることが黒川庶務幹事より指摘され、50音順ではなく、専門分野や地域別などで区分したうえで選挙を実施してはどうかと提案があり、会長、庶務幹事、事務局にて検討のうえ、次回選挙から実施することとなった。

以上